

第 2 学年 英語科 学習指導案

「相手の言おうとしていることが分かる」「自分の言いたいことが英語で言える」コミュニケーション能力の育成を目指し、英語教師として何年も試行錯誤したが、答えは見つからなかった。「話す力」を付けさせたいと思いつつも、受験に対応する力も付けさせたいと葛藤した。そこそこクラスルームイングリッシュも使っていたが、満足なものではなかった。

そんな中、アメリカで半年間の語学研修を行う機会を得た。幼稚園から専門学校までの授業を見てきた。第 2 外国語で行われる授業も見た。英語が堪能な韓国人、中国人、南米人と一緒に学んだ。彼らの積極的な姿勢に圧倒された。間違えることを恐れない(hesitate 躊躇しない)アメリカの生徒を見た。生徒から答えを引き出す(elicit)指導法を見てきた。

半年で学んだもの、それは『英語はことば』だということ。帰国してから授業を変えた。4月の最初の授業では必ず次の話をする。「週 3～4 時間の授業で英語がペラペラ話せるようになるのは不可能です、でも授業を通して英語が好きになることは可能です、それが私の役目です」ひとたび英語が好きになれば、家でも英語を聴く、英語を読む、英語を話すようになる。英語に携わる職業に就きたくなる。そんな生徒を一人でも多く育てたいと思っている。

来年度より新学習指導要領により、授業を行うことになる。新潟市では教科書も変わる。英語科では統合的な力の育成を目指した授業が求められている。これまでと状況は変わっても「英語を好きにさせる」という授業の目標を達成するため、背骨のしっかりした授業を展開していきたい。

授業で主に実践していること

- 1 クラスルーム・イングリッシュ(できるだけ日本語を話さない)
- 2 英語の歌を歌う。BGMを流す。(教室の空気をアメリカにする)
- 3 間違えることはOK, チャレンジすることを讃える。(欧米の血)
- 4 絶えず答えを相談させる。発言への自信をもたせる。(シェアリングとコンフィデンス)

1 単元名 Unit 7 My Favorite Movie (NEW HORIZON English Course 2 東京書籍)

2 単元の見どころ

- 比較表現を用いて、自分の言いたいことが英語で表現できる。
- 映画「E.T.」のストーリーを理解し、要点を英語で説明することができる。

3 単元について

(1) 文法について

本単元では比較表現(-er / the -est / more / the most / better / the best / as ~ as)が中心である。er / the -est の導入では歴史的建造物の古さや高さ、日本・世界の有名な川の長さを比較させ、社会科の既習知識にかかわる知的好奇心をくすぐりながら基本文型の導入を行う。more / the most の導入では 2～3 枚の風景の写真を提示し、Which is more beautiful A or B? What is the most beautiful picture of the three? の Q A を通して基本文の導入を行う。導入後は写真や絵を使って Which is older, A or B? / What is the oldest ○○ in Japan? / Who is the youngest student in this class? / What is the most famous ○○ in the world? などの質問を交えた班別対抗のゲームを行う。ゲームを通して英語が苦手な生徒が活躍できる場面を意図的につくる。

個別には、ドリルで基本文を繰り返し練習したあと、文法プリントで定着を図る。

(2) 題材について

映画「E.T.」は1982年スティーブン・スピルバーグ監督によって製作され日本でも大ヒットとなったSF (Science Fiction) 映画である。孤独な少年エリオットと宇宙人E.T.との友情を描いた感動作である。10才のエリオットは母・兄・妹と4人暮らし。父とは別居で寂しい毎日を送っていた。ある夜エリオットの家でE.T.が現れる。NASAの科学者たちはE.T.を認知し、懸命に捜索する。2人は次第にコミュニケーションをはかれるようになり、二人の友情は日増しに強くなっていく。宇宙船がE.T.を迎えに来る別れの場面では、E.T.が "Come." と言ってエリオットと一緒にいこうと誘うが、エリオットは "Stay." と言って地球にとどまる。

本文では2人の友情が日増しに強くなっていく様子、別れる場面が紹介されている。別れ際にE.T.がエリオットの額に触れ、I'll be right here. という場面は感動的である。この映画を観たことのある生徒は少ない。そこで、本単元の学習に入る前に、映画を見せたい。別れ際のE.T.の "Come." エリオットの "Stay." のセリフの場面を取り上げ、単語1語で思いが十分伝わることを付け加えたい。

本文を学習したあとは、ピクチャーカードを使って、E.T.の概略の説明を英語でさせたい。

4 指導計画

第1時	映画鑑賞「E.T.」①
第2時	映画鑑賞「E.T.」②
第3時	比較表現(er / the -est / more / the most)の導入, 練習
第4時	比較表現(er / the -est / more / the most)の復習, Starting Out(p76)の内容理解
第5時	Dialogue(p77)の内容理解, more / the most を用いた表現活動
第6時	Reading for Communication(p78)の内容理解
第7時	p78の復習, Reading for Communication(p79)の内容理解
第8時	p79の復習, better / the best を用いた表現, スピーチ練習
第9時	映画「E.T.」スピーチ発表
第10時	文法のまとめ, 復習

5 生徒の実態

4月実施の全国標準学力テスト(以下NRT)のクラス標準偏差は平均を上回っていたが、2学年全体の大領域では「聞くこと」が他の技能より一番劣っていた。

そこで「聞く力」を身に付けるために4月当初より教科書本文のディクテーション活動を継続的に行ってきた。生徒の聞き取る単語の数も増えており、聞き取る力は確実に伸びているものと思われる。

また「話す力」を伸ばすために継続的に、英検準2級の面接カードを用いたLook & Tell活動を定期的に行ってきた。これは拡大された絵の5人の人物の行動を現在進行形を用いてパートナーに伝える活動である。単に伝えて終わりではなく、模範文を提示し音読によって定着させることで、生徒の表現力は確実に身に付いている。さらにcreativeな活動として絵の季節についてパートナーと推測させ、発表させている。

12月実施のアンケートでは「英語が好き」な生徒が93%、「英語が得意」と答えた生徒が70%であった。授業の雰囲気は良好で挙手や発言も多い。音読も声が出る。

6 単元の評価規準

観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
聞く こと	(言語活動への取組) ①教師やCDの英語を聞いて返答しようとしたり、関心をもって聞こうとしている。(観察)		(正確な聞き取り) ①比較表現が用いられた文を理解することができる。(観察) ②慎とジュディの映画についての対話を正しく理解している。(観察)	(言語についての知識) ①映画に関する知識がある。(観察) ②比較表現が含まれた文についての理解している。(定期テスト)

話すこと	(言語活動への取組) ②比較表現を用いて話そうとしている。(観察)	(正確な発話) ①比較表現を用いて、自分の言いたいことを表現することができる。(観察・ワークシート) ②映画「E.T.」のあらすじを英語で説明することができる。(発表)		
読むこと	(言語活動への取組) ③分からないところがあっても、場面を想定しながら読もうとしている。(観察)	(正確な音読) ③強勢・抑揚・語と語の連結による音変化・区切りに注意して音読することができる。(観察・暗唱テスト)	(正確な読み取り) ③映画「E.T.」のストーリーを正しく読み取ることができる。(観察) ④E.T.のメッセージを正しく読み取ることができる。(観察)	
書くこと	(コミュニケーションの継続) ④既習の語句や表現を使い、伝えたいことを意欲的に書こうとしている。(ワークシート)	(正確な筆記) ④与えられた場面を既習の表現を用いて、正しく書くことができる。(ワークシート)		

7 本時の指導

(1) 本時のねらい

- 慎とジュディの対話を理解することができる。
- more / the most を用いて自分の言いたいことを英語で表現することができる。

(2) 指導の構想

最初に前時の復習として、比較作文ゲームを行う。全員立ち、教師が提示する形容詞を用いて、比較級・最上級の文を発表する。教師は「たて」「よこ」の札を提示し、その列の生徒は座ることができる。5題(strong / large / old / long / interesting)出題する。問題が進むにつれ、苦手な生徒が残るので難易度を下げる。

次に Look & Tell を行う。英検準2級の面接カードを拡大コピーし、黒板に貼る。生徒は黒板に前後に座り、B生徒は黒板に背を向けたA生徒に5人の人物が何をしているか現在進行形で伝える。A生徒はそれを覚え、場所がどこか推測し、教師に伝える。時間は1分とし、隣の声が聞こえないようにBGMを大きめに流す。活動後、模範文を提示し音読することで定着を図る。さらに creative な活動としてその絵の季節や家族がどんな様子に見えるか、ペアで話し合わせ、理由と一緒に発表させる。

本文の導入では慎とジュディの顔だけ見えるピクチャーカードと① What are they talking about? の質問を提示し、対話を1回流す。映画について話していることを確認した後で、② What is Shin's favorite movie?, ③ Why? の質問を提示し、2回目の対話を流す。答え合わせは口頭と単語程度にとどめる。その後、ディクテーションと読み取り活動を通して内容理解を図る。

訳を添付したアクセントシートを用いて対話の内容、重要表現の説明した後で音読練習を行う。1回音読のポイントを伝え、6～7回音読練習を行う。音読の最後にはクロスリーディングを行う。これは教師が本文を読み、途中で止めた後の文を挙手で発表させる活動である。発表した生徒の「たて」「よこ」の列の生徒が教師の提示したカードによって座ることができ、ゲーム性も高く、いつも盛り上がる。

次に下の二つの発問をし、自分の考えを英語で表現させる。できるだけ発言の少ない生徒の正答を見付け、板書させ達成感をもたせたい。よい解答があれば複数板書させる。

- (A) Which is more popular in Japan, baseball or soccer ?
Why ?
- (B) What is the most important thing for you, friends, family, or money ?
Why ?

最後に復習としてワードゲームを行う。この活動は本時に学習したページの単語の最初と最後の文字を教師が読み、その単語を当てるゲームである。集中力が高まり、単語が定着することを期待している。列ごとで競わせることで生徒はとても意欲的に取り組む。

(3) 本時の展開

学習の流れ		生徒の活動	・指導の手だて ・評価
10分	<p>Warming up (1) Review</p> <p>(2) Look & Tell</p>	<p>○ 起立し、比較文を作り、発表する。 Now let's review Hikaku sentences. Please make Hikaku sentences with this word. Everyone, stand up.</p> <p>○ 絵を見て5人の人物の動作についてパートナーに説明する。 T: Let's try Look & Tell. Students A turn your desks and make pairs. You have 1 minute to describe. □□, what did your partner tell you ? These are model sentences. Repeat after me What season ? Why ?</p>	<p>・「たて」「よこ」の札用意。</p> <p>・発表した生徒と同じ列の生徒は座ることができる。</p> <p>・簡単な形容詞を5問目にとっておく</p> <p>・聞く生徒は絵に教師に背を向ける。</p> <p>・時間は1枚につき1分。</p> <p>・数名の生徒にパートナーがどのように言ったか尋ねる。</p> <p>・どこの絵か尋ねる。</p> <p>・模範文を提示し音読練習し、定着図る。</p> <p>・絵の季節を考えさせ、発表させる。</p> <p>・BGMを流し、周りの声が聞こえないようにする。</p> <p>・席を移動し同じ活動を行う。</p>
3分	Introduction	<p>○ 対話を聞いて、場面を想像する。 T: Who are they ? They are Shin and Judy. They are talking about movies. You have 3 questions. Listen to the tape. (1) What kind of movie does Judy like ? S: Love stories. (2) What is Shin's favorite movie ? S: E.T. (3) Why does Shin like E.T. ? S: It's the most moving.</p>	<p>・顔だけ見える Picture Card を用意する。</p> <p>・モデル対話を2～3回流す。</p> <p>・口頭で質問し、答え合わせする。</p> <p>・単語での答えでOKとする。</p>
11分	<p>Dictation</p> <p>・ Understanding</p>	<p>○ ディクテーションを行う。 T: Shin and Judy are talking about movies.</p>	<p>・テープを間を変えて2～3回流す。</p> <p>・答えを相談させる。</p>

	of the dialog	<p>Today we are going to study about movies. Let's try dictation practice. T: Let's check answers. Raise your hands.</p> <p>○ 単語練習をする。 T: Practice new words. Repeat after me. Repeat after the tape.</p> <p>○ 内容に関する質問に答える。 T: Back to the dictation sheet. You have 3 questions. Write answers in English. (1) What kind of movies does Judy like ? (2) Why does Shin like science fiction movies ? (3) Why does Shin like E.T. ?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挙手で答えを発表させる。 ・ 答えを板書する ・ フラッシュカード用意 ・ 意味を例文を添えて説明する。 ・ 正解を書いている生徒を見つけ、板書させる。 ・ 日本語の質問をディクテーションシートの裏に印刷しておく。
3分	Comprehension	<p>○ 本文の内容説明を聞く。 (After giving accent sheet) T: Let's make underline with your marker.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクセントシートを用いて説明する。 ・ 大切な表現にアンダーラインを引く。
8分	Reading	<p>○ 音読練習をする ①②教師に続いて ③テープに続いて ④バズ(5回) ⑤ペースリーディング ⑥クロス</p> <p>T: Let's practice reading. First reading, repeat after me. Second, be careful with the intonation.</p> <p>Third, repeat after the tape. Fourth, buzz reading, stand up. Fifth, pace reading. Sixth, cross reading.</p>	<p>【音読のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①発音を確認しながらゆっくりと ②アクセントを意識して ③英語らしく ④自分のペースで ⑤英語らしく ⑥挙手して発表
7分	Writing	<p>○ more / the most を用いて自分の考えを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2つの質問を提示する。 ・ ワークシートに記入させる。

		<p>T: Now let's have a writing practice. You have 2 questions.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(A) Which is more popular in Japan, baseball or soccer ? Why? (B) What is the most important thing for you, friends, family, or money ? Why ?</p> </div> <p>[解答例] (A) Soccer is more popular than baseball. Because boys and girls play it. (B) Friends are the most important. Because my friends always make me happy.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正解している生徒を見つけ板書させる。 ・(A)については <u>Baseball, Soccer</u> 両方の文を見付けたい。 ・(B)については <u>Friends, Family, Money</u> 3つの文を見付けたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><評価 B > more / the most を用いて表現できる。 <評価 A > more / the most を用いて、自分の考えを表現できる。 (ワークシート・自己評価カード) * C 生徒への手だて 机間支援で個別にアドバイスする。</p> </div>
5分	Review	<p>○ 教師の発音を聞いて単語を当てる。 T: Now let's have a word game. Open your text book to page 84,85. Listen to me and tell me the word.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に得点表を書き、加点していく。 ・最初の5問は教科書を見て、6問目からは教科書を見ないで答えさせる。
3分	Self evaluation	<p>○ 自己評価カードに取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価カードを用意する。 ・癒し系BGMを流す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><評価 B > ジュディは恋愛映画が、慎はSF映画が好きなことが分かる。 <評価 A > 慎がE. T. が好きなこと、その理由を正確に理解している。 (自己評価カード) * C 生徒への手立て アクセントシートに訳を添付する。</p> </div>

(4) 本時の評価

- 慎とジュディの対話を理解している。(自己評価カードで評価する。)
 - <評価 B > ジュディは恋愛映画が、慎はSF映画が好きなことが分かる。
 - <評価 A > 慎がE. T. が好きなこと、その理由を正確に理解している。
 - * Cの生徒への手だて アクセントシートに訳を添付する。
- more / the most を用いて自分の言いたいことを英語で表現をすることができたか。
 - <評価 B > more / the most を用いて表現できる。
 - <評価 A > more / the most を用いて、自分の考えを表現できる。
(ワークシート・自己評価カード)
 - * C 生徒への手だて 机間支援で個別にアドバイスする。

2年組 自己評価カード(月日)

Class _____ Name _____

1 今日の英語の授業を振り返って、以下の質問に答えてください。

	質 問 項 目	十分できた	できなかった
1	Look & Tell では絵の5人の人物について、パートナーに英語でうまく説明することができましたか。	4 3	2 1
2	慎とジュディの対話の内容を理解することができましたか。	4 3	2 1
3	アクセントシートを使ったりペースリーディングを通して、モデル対話を正しく音読することができましたか。	4 3	2 1
4	more や the most を用いて、自分の言いたいことを英語で表現することができましたか。	4 3	2 1
5	ペアやとなり前後の人と協力して学習することができましたか。	4 3	2 1

2 授業の感想を書いてください。